

第7回 UBIQEN フォーラム
高度自然光利用技術
— 新たな自然エネルギー利用に向けて —

エネルギー供給と環境の調和を実現するため、太陽光発電、蓄電池、省エネ家電の技術開発・導入の推進に加えて、自然エネルギーを利用した新たな創エネ、省エネ技術が模索されはじめています。地上に降り注ぐ太陽の光は我々の身近にあるクリーンで持続可能なエネルギー源ですが、太陽電池パネルで利用される光はそのごく一部でしかありません。そのため、現在使われていない自然光を多様な手法を用いて高効率に利用することが自然エネルギーの総合利用効率を向上させる上で今後重要な課題となると考えられます。

自然光を有効に活用するためには、その使い勝手を向上させるとともに、ロスを生じる他のエネルギー形態への変換過程を減らすことが必要です。そのためには自然光をコンパクトに集光し、太陽電池など光を利用する場所に高効率に伝送・導入することが有効なことは言うまでもなく、さらには、次世代の省エネ照明とも言える自然光照明、蓄光を利用した屋外の蓄光安全照明など、光をそのまま光として使う省エネ技術も重要であると言えます。

上記の自然光利用技術を実現し、新たな産業としていくためには、日本のお家芸ともいべきナノテクノロジー・材料技術を駆使して集光、波長変換、反射制御に関するデバイス技術を新たに創成することがキーとなります。

現在の社会の要請である省エネと安全・快適な生活を実現していくために、自然光利用技術にどのような課題があり、そして何を開発するべきかについて考える場として本フォーラムを開催いたします。

【日時】平成24年2月13日（月） 13:30～17:00

【場所】産業技術総合研究所 関西センター、基礎融合実験棟2階多目的ホール

【主催】産業技術総合研究所 関西センター

【後援】近畿経済産業局、(財)大阪科学技術センター、大阪商工会議所

【協賛】応用物理学会関西支部、日本セラミックス協会関西支部、日本化学会近畿支部、照明学会関西支部、日本分光学会関西支部

定員：150名（定員になり次第、締め切り）

締め切り：平成24年2月7日（火）

参加費：無料（但し、交流会参加費は、別途3,000円）

申し込み先／方法

UBIQEN フォーラム事務局 E-mail: ubiqen7@m.aist.go.jp

電子メールで上記アドレスまで、件名(subject)を“UBIQEN フォーラム参加申込み”と記載の上、下記項目をお知らせ願います。①会社名又は機関名、②所属、③氏名、④電話番号、⑤交流会参加の有無

*今回申し込みの際に頂いた個人情報、産総研関西センターが主催します講演会／展示会等のご案内に使用させていただく場合があります。

問い合わせ先

産業技術総合研究所 関西産学官連携センター TEL: 072-751-9606、E-mail: ubiqen7@m.aist.go.jp

プログラム

- 13:30 開催挨拶 関西センター 所長 田口隆久
- 13:35 来賓挨拶 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 部長 井岡秀自
- 13:40 基調講演 21世紀を乗り越えるためのエネルギーシステム
製品評価技術基盤機構理事長、東京大学名誉教授 安井至
- 14:30 招待講演 低消費電力なフォトニクスポリマーの新展開
慶応義塾大学教授、フォトニクス・リサーチ・インスティテュート所長 小池 康博
- 15:10 休憩
- 15:20 サブ波長周期構造を用いた光学素子
ユビキタスエネルギー研究部門 光波制御デバイスグループ 主任研究員 金高健二
- 15:50 省資源・省エネルギーに資する蛍光・蓄光材料
ユビキタスエネルギー研究部門 高機能ガラスグループ 主任研究員 神哲郎
- 16:20 高効率光電変換を目指した分子配向制御技術
ユビキタスエネルギー研究部門 デバイス機能化技術グループ 主任研究員 溝黒登志子
- 16:50 閉会挨拶 ユビキタスエネルギー研究部門 部門長 小林哲彦
- 17:00 終了
- 17:15 交流会